

DRUG

INFORMATION



2007 No. 4

平成19年3月2日発行

1. 医薬品の採用・中止・変更について 1
—平成19年3月1日 薬事委員会結果報告—
2. 新規院内処方医薬品添付文書情報 5

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp

医薬品の採用・中止・変更について

—平成19年3月1日 薬事委員会結果報告—

新規院内試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
オキノーム散(塩酸オキシコドン)	5mg/1g/包	癌疼痛治療用散剤	塩野義
ガナトン錠(塩酸イトプリド)	50mg/錠	消化管運動賦活剤	アボット
プレミメント錠(ロサルタンカリウム、ヒドロクロチアジド)	50mg、12.5mg/錠	持続性 ARB/利尿薬合剤	万有
レキップ錠(塩酸ロピニロール)	0.25mg/錠	ドパミン D ₂ 受容体系作動薬	GSK
レキップ錠(塩酸ロピニロール)	1mg/錠	ドパミン D ₂ 受容体系作動薬	GSK
ガチフロ点眼液(ガチフロキサシン水和物)	[0.3%] 5mL/本	広範囲抗菌点眼剤	千寿
デュロテップパッチ(フェンタニル)	10mg/枚	持続性癌疼痛治療剤	協和醗酵
パルミコート吸入液(ブデソニド)	0.25mg/2mL/本	吸入ステロイド喘息治療剤	アストラゼネカ
ヒルドイドローション(ヘパリン類似物質)	25g/本	血行促進・皮膚保湿剤	マルホ
アルチバ静注用(塩酸レミフェンタニル)	2mg/V	全身麻酔用鎮痛剤	ヤンセン
イトリゾール注(イトラコナゾール)	200mg/20mL/A	抗真菌剤	ヤンセン
オプチレイ 240 シリンジ(イオベルソール)	[240mgI/mL] 100mL/筒	非イオン性造影剤	タイコ
タケブロン静注用(ランソプラゾール)	30mg/V	プロトンポンプインヒビター	武田
パルクス注(アルブロスタジル)	5μg/1mL/A	プロスタグランジンE ₁ 製剤	大正富山
ヒューマカート R 注(キット)(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/筒	抗糖尿病剤	イーライリリー
ヒューマカート N 注(キット)(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/筒	抗糖尿病剤	イーライリリー
ヒューマログ注キット(インスリンリスプロ)	300 単位/3mL/筒	抗糖尿病剤	イーライリリー
プロポフォール注「マルイシ」(プロポフォール)	[1%] 200mg/20mL/A	全身麻酔・鎮静剤	丸石
日赤ポリグロビン N 注(人免疫グロブリン)	[5%] 100mL/V	血漿分画製剤	日赤

院内採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
イトリゾール内用液(イトラコナゾール)	10mg/mL	経口抗真菌剤	ヤンセン
エビリファイ錠(アリピプラゾール)	6mg/錠	抗精神病薬	大塚
オキシコンチン錠(塩酸オキシコドン)	5mg/錠	持続性癌疼痛治療剤	塩野義
ガバペン錠(ガバペンチン)	200mg/錠	抗てんかん剤	ファイザー
ガバペン錠(ガバペンチン)	400mg/錠	抗てんかん剤	ファイザー
セルセプトカプセル(ミコフェノール酸モフェチル)	250mg/Cp	免疫抑制剤	中外
パシーフカプセル(塩酸モルヒネ)	60mg/Cp	持続性癌疼痛治療剤	武田
バラクルード錠(エンテカビル水和物)	0.5mg/錠	抗ウイルス化学療法剤	ブリストル
フルタイド 50 エアー(プロピオン酸フルチカゾン)	10.6g/缶	吸入ステロイド喘息治療剤	GSK
ポリフル細粒(ポリカルボフィルカルシウム)	1,000mg/1.2g/包	過敏性腸症候群治療剤	アボット
マグラックス錠(酸化マグネシウム)	330mg/錠	制酸・緩下剤	吉田

院内採用医薬品(つづき)

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
レナジェル錠(塩酸セベラマー)	250mg/錠	高リン血症治療剤	中外
アイソボリン注(レボホリナートカルシウム)	100mg/V	活性型葉酸製剤	ワイス
アデノスキャン注(アデノシン)	60mg/20mL/V	心臓疾患診断補助剤	第一
セフメタゾンキット点滴静注用(セフメタゾールナトリウム)	1g/本	セファマイシン系抗生物質製剤	三共
ゾメタ注射液(ゾレドロン酸水和物)	4mg/5mL/V	骨吸収抑制剤	ノバルティス
ピーガード錠(硫酸モルヒネ)	20mg/錠	持続性癌疼痛治療剤	田辺
ビーフリード点滴静注用	500mL/袋	ビタミン B ₁ ・糖・電解質・アミノ酸液	大塚
ヒューマログミックス 25 注キット(インスリンリスプロ)	300 単位/3mL/キット	抗糖尿病剤	イーライリリー
ヒューマログミックス 50 注キット(インスリンリスプロ)	300 単位/3mL/キット	抗糖尿病剤	イーライリリー
ブイフェンド静注用(ボリコナゾール)	200mg/V	深在性真菌症治療剤	ファイザー

院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
エスベリベン錠(メリロートエキス、ルチン)	合剤	痔疾患治療剤	サント
柴胡加竜骨牡蛎湯エキス顆粒	2.5g/包	漢方製剤	ツムラ
セタブリル錠(アラセブリル)	25mg/錠	持続性 ACE 阻害降圧剤	大日本住友
ワイテンス錠(酢酸グアナベンズ)	2mg/錠	高血圧症治療剤	アルフレッサ
リンデロン点眼液(リン酸ベタメタゾンナトリウム)	[0.01%] 5mL/本	眼科用合成副腎皮質ホルモン剤	塩野義
アデラビン 9 号(肝臓エキス、フラビンアデニンジヌクレオチド)	2mL/A	肝臓抽出製剤	三和化学
アレディア注(パミドロン酸二ナトリウム)	15mg/V	骨吸収抑制剤	ノバルティス
オプチレイ 350(イオベルゾール)	35g/100mL/本	非イオン性造影剤	タイコ
カコージン D 注(塩酸ドパミン)	600mg/200mL/袋	急性循環不全改善剤	日本製薬
デスフェラルバイアル(メシル酸デフェロキサミン)	500mg/V	鉄排泄剤	ノバルティス
パピナル注(塩酸オキシコドン、塩酸ヒドロコタルコン)	1mL/A	あへんアルカロイド系麻薬	武田
ヒューマカート R 注(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/筒	抗糖尿病剤	イーライリリー
ヒューマカート N 注(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/筒	抗糖尿病剤	イーライリリー
ヒューマカート 3/7 注(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/筒	抗糖尿病剤	イーライリリー
ヒューマログ注カート(インスリンリスプロ)	300 単位/3mL/筒	抗糖尿病剤	イーライリリー
ペグイントロン皮下注用(ペグインターフェロン α -2b)	150 μ g/0.5mL/V	ペグインターフェロン α -2b 製剤	シエリング・プラウ
ミコシスト静注液(フルコナゾール)	200mg/100mL/本	深在性真菌症治療剤	塩野義

※院内在庫がなくなり次第、処方中止とします。

院外採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アレグラ錠(塩酸フェキソフェナジン)	30mg/錠	アレルギー性疾患治療剤	サノフィ・アベンティス
クレストール錠(ロスバスタチンカルシウム)	5mg/錠	HMG-CoA 還元酵素阻害剤	塩野義
セレニカ R 錠(バルプロ酸ナトリウム)	400mg/錠	抗てんかん剤・躁状態治療剤	興和
ノリニール T28(ノルエチステロン、エチニルエストラジオール)	合剤	経口避妊剤	科研
ビオラクチス散(カゼイ菌)	500mg/g	乳酸菌製剤	ヤクルト
プレミネント錠(ロサルタンカリウム、ヒドロクロロチアジド)	50mg、12.5mg/錠	持続性 ARB/利尿薬合剤	万有
マーベロン 28(デソゲステル、エチニルエストラジオール)	合剤	経口避妊剤	オルガノン
スカイロン点鼻液 50μg(プロピオン酸フルチカゾン)	2.04mg/4mL/本	粘膜付着型鼻過敏症治療剤	大日本住友
パタノール点眼液(塩酸オロパタジン)	[0.1%] 5mL/本	抗アレルギー点眼剤	アルコン
ベガモックス点眼液(塩酸モキシフロキサシン)	[0.5%] 5mL/本	広範囲抗菌点眼剤	アルコン
サンドスタチン注射液(酢酸オクトレオチド)	50μg/1mL/A	持続性ソマトスタチンアナログ	ノバルティス

販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
サルベリン点眼用(スルベニシリンナトリウム)	[1%] 5mL/本☆	合成ペニシリン製剤	千寿
デクラート散(ヨウ素)	[0.9%] 3g/包※	褥瘡・皮膚潰瘍治療剤	日本新薬
ネンブタール注射液(ペントバルビタールナトリウム)	2,500mg/50mL/本★	全身麻酔剤	大日本住友

- 【院内処方】 ☆★:院内在庫がなくなり次第、処方中止とします。
- 【院外処方】 ☆:経過措置期間決定後、期間終了日で処方中止とします。
- ※:平成 19 年 3 月 31 日付で処方中止とします。

＊オキシコドン塩酸塩水和物

Oxycodone Hydrochloride Hydrate

【商】オキノーム Oxinorm 塩野義

内用：散剤^(麻) 1g 中 5mg [132.6 円/g]

【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】1 日 10～80mg を 4 回に分割投与する。

【禁】重篤な呼吸抑制のある患者、重篤な慢性閉塞性肺疾患の患者、気管支喘息発作中の患者、慢性肺疾患に続発する心不全の患者、痙攣状態(てんかん重積症、破傷風、ストリキニーネ中毒)にある患者、麻痺性イレウスの患者、急性アルコール中毒の患者、アヘンアルカロイドに対し過敏症の患者、出血性大腸炎の患者 細菌性下痢のある患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、依存性、呼吸抑制、錯乱、譫妄、無気肺、気管支痙攣、喉頭浮腫、麻痺性イレウス、中毒性巨大結腸

①発疹、蕁麻疹 ②低血圧、不整脈、血圧変動、起立性低血圧、失神 ③眠気、傾眠、眩暈、頭痛、頭重感、不眠、発汗、幻覚、意識障害、しびれ、筋攣縮、焦燥、不安、異夢、悪夢、興奮、視調節障害、縮瞳、神経過敏、感覚異常、痙攣、振戦、筋緊張亢進、健忘、抑うつ、感情不安定、多幸感、思考異常、構語障害 ④便秘、嘔気、嘔吐、下痢、食欲不振、胃不快感、口渇、腹痛、おくび、鼓腸、味覚異常、嚥下障害 ⑤痒感、発熱、倦怠感、血管拡張、呼吸困難、悪寒、頭蓋内圧亢進、脱力感、胸部圧迫感、排尿障害、尿閉、脱水、無月経、性欲減退、勃起障害、浮腫、皮膚乾燥

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

＊塩酸イトプリド Itopride Hydrochloride

【商】ガナトン Ganaton アボット

内用：錠剤 1 錠中 50mg [24.3 円/錠]

【効】慢性胃炎における消化器症状(腹部膨満感、上腹部痛、食欲不振、胸やけ、悪心、嘔吐)

【用】1 日 150mg を 3 回に分け食前に投与する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、肝機能障害、黄疸 ①発疹、発赤、痒感 ②振戦 ③プロラクチン上昇、女性化乳房 ④血小板・白血球減少 ⑤下痢、便秘、腹痛、嘔気、唾液増加 ⑥頭痛、イライラ感、睡眠障害、めまい ⑦ AST・ALT 上昇、γ-GTP・ALP 上昇 ⑧ BUN・クレアチニン上昇 ⑨胸背部痛、疲労感

【妊】未確立、有益のみ

【授】原則回避、投与する場合は授乳回避

【小*】未確立

【商】プレミネント Preminent 万有

内用：錠剤 1 錠中ロサルタンカリウム 50mg、ヒドロクロチアジド 12.5mg [190 円/錠]

【効】高血圧症

【用】1 日 1 回 1 錠を投与する。本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、チアジド系薬剤又はその類似化合物(例えばクロルタリドン等のスルホンアミド誘導体)に対する過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、重篤な肝機能障害のある患者、無尿の患者又は透析患者、急性腎不全の患者、体液中のナトリウム・カリウムが明らかに減少している患者

【副】アナフィラキシー様症状、血管浮腫、急性肝炎、劇症肝炎、急性腎不全、ショック、失神、意識消失、横紋筋融解症、高カリウム血症、心室性期外収縮、心房細動、汎血球・白血球・血小板減少、再生不良性貧血、溶血性貧血、壊死性血管炎、間質性肺炎、肺水腫、SLE 悪化、低血糖 ①めまい、浮遊感、眠気、頭痛、耳鳴、不眠、知覚異常 ②起立性低血圧、調律障害、低血圧、胸痛、動悸 ③嘔吐・嘔気、口内炎、下痢、口角炎、胃不快感、胃潰瘍、腹部仙痛、膝炎、唾液腺炎、便秘、食欲不振、腹部不快感、口渇 ④黄疸、AST・ALT・LDH 上昇 ⑤ BUN・クレアチニン上昇 ⑥発疹、蕁麻疹、多形紅斑、光線過敏、紅皮症、痒感、顔面潮紅、皮膚エリテマトーデス ⑦貧血、赤血球減少・増加、ヘマトクリット低下・上昇、ヘモグロビン・白血球数・好中球百分率増加、リンパ球数増加・減少、好酸球增多

⑧倦怠感、CK 上昇、尿酸値上昇、低カリウム血症、高血糖症、頸部違和感、多汗、頻尿、CRP 増加、尿中蛋白・ブドウ糖・赤血球・白血球陽性、発熱、味覚障害、しびれ感、眼症状、黄視症、ほてり、浮腫、筋肉痛、咳嗽、低ナトリウム血症、低マグネシウム血症、低クロール性アルカローシス、血清カルシウム増加、インポテンス、高カルシウム血症を伴う副甲状腺障害、筋痙攣、鼻閉、紫斑、呼吸困難、血清脂質増加

【妊】禁忌 【授】授乳中止

【小*】未確立

*ロピニロール塩酸塩 Ropinirole Hydrochloride

【商】レキップ ReQuip GSK
内用：錠剤⑧ 1錠中 0.25mg [59.5 円/錠]
1mg [205.8 円/錠]

【効】パーキンソン病

【用】1回 0.25mg、1日3回(1日 0.75mg)から始め、1週毎に1日 0.75mg ずつ増量し、4週目に1日 3mg とする。以後経過観察しながら、1日 1.5mg ずつ1週間以上の間隔で増量し、維持量(標準1日量 3~9mg)を定める。いずれの投与量の場合も1日3回に分け、投与する。1日 15mg を超えないこととする。

【警】前兆のない突発的睡眠及び傾眠等がみられることがあるので、本剤服用中には、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないように注意すること。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【副】突発的睡眠、極度の傾眠、幻覚、妄想、興奮、錯乱、譫妄、悪性症候群* ⑨リビドー亢進 ⑩めまい、傾眠、ジスキネジー、失神 ⑪起立性低血圧、低血圧 ⑫悪心、消化不良、腹痛、嘔吐、便秘 ⑬末梢性浮腫

【妊】禁忌

【授】原則禁忌、投与する場合は授乳回避

【小*】未確立

*ガチフロキサシン水和物 Gatifloxacin Hydrate

【商】ガチフロ Gatiflo 千寿
外用：点眼剤 0.3% (5mL) [130.7 円/mL]

【効】①眼瞼炎、涙囊炎、麦粒腫、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む) ②眼科周術期の無菌化療法

【用】①1回1滴、1日3回点眼する。②手術前は1回1滴、1日5回、手術後は1回1滴、1日3回点眼する。

【禁】本剤の成分又はキノロン系抗菌剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】ショック* アナフィラキシー様症状* ⑭蕁麻疹、発疹 ⑮刺激感、瘙痒感、霧視、点状角膜炎、虹彩炎、眼瞼炎、結膜炎、結膜出血、流涙 ⑯鼻漏 ⑰嘔気

【妊・授】未確立、有益のみ

【低・新・乳】未確立

*フェンタニル Fentanyl

【商】デュロテップ Durotep 協和醗酵
外用：貼付剤⑧ 1枚中 10mg [12,214.3 円/枚]

【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】モルヒネ製剤から切り替えて使用する。胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、3日毎(約72時間)に貼り替えて使用する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症のある患者

【副】依存性、呼吸抑制、意識障害、ショック、アナフィラキシー様症状、痙攣 ⑱血圧上昇、頻脈、徐脈、血圧低下 ⑲眠気、不穏、不眠、傾眠、健忘、めまい、いらいら感、幻覚、多幸症、頭痛、錯乱、譫妄 ⑳貼付部位瘙痒感、発疹、瘙痒、貼付部位紅斑、紅斑 ㉑便秘、嘔気、嘔吐、下痢、口渇 ㉒肝機能異常 ㉓尿閉 ㉔発熱、倦怠感、発汗

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【小*】未確立

*ブデソニド Budesonide

【商】パルミコート<吸入液> Pulmicort
外用：吸入剤 アストラゼネカ
1管(2mL)中 0.25mg [263.3 円/管]

【効】気管支喘息

【用】6ヵ月以上5歳未満の乳幼児には、0.25mgを1日2回又は0.5mgを1日1回、ネブライザーを用いて吸入投与する。1日の最高量は1mgまでとする。

【禁】有効な抗菌剤の存在しない感染症・深在性真菌症の患者、本剤の成分に対して過敏症(接触皮膚炎を含む)の既往歴のある患者 結核性疾

患・呼吸器感染症のある患者

【副】⑥発疹、蕁麻疹、接触性皮膚炎、血管浮腫
⑨呼吸器カンジダ症、咽喉頭刺激感、咳嗽、嗄声、
感染、鼻出血、気管支痙攣 ⑩悪心 ⑪精落ち着き
のなさ、行動障害、神経過敏、うつ病、不眠

⑫皮膚挫傷

【低・新・乳】6ヵ月未満：未確立

【貯】遮光

*ヘパリン類似物質 Heparinoid

【商】ヒルドイド Hirudoid マルホ
外用：ローション剤 1g 中 3mg (25g)

[30.6 円/g]

【効】皮脂欠乏症、進行性指掌角皮症、凍瘡、肥
厚性癬痕・ケロイドの治療と予防、血行障害に基
づく疼痛と炎症性疾患(注射後の硬結並びに疼痛)、
血栓性静脈炎(痔核を含む)、外傷(打撲、捻挫、
挫傷)後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎、
筋性斜頸(乳児期)

【用】1日1～数回適量を患部に塗布する。

【禁】出血性血液疾患(血友病、血小板減少症、
紫斑病等)のある患者、僅少な出血でも重大な結
果を来すことが予想される患者

【副】⑬皮膚炎、瘙癢、発赤、発疹、潮紅

【妊】未確立

*レミフェンタニル塩酸塩

Remifentanyl Hydrochloride

【商】アルチバ Ultiva ヤンセン
注射：⑭⑮ 1瓶中 2mg [2,534 円/瓶]

【効】全身麻酔の導入及び維持における鎮痛

【用】他の全身麻酔剤を必ず併用し、下記用量を
用いる。1)麻酔導入：0.5μg/kg/分で持続静注する。
ダブルルーメンチューブの使用、挿管困難等、気
管挿管時に強い刺激が予想される場合には、
1.0μg/kg/分とすること。必要に応じて、持続静注
開始前に 1.0μg/kg を 30～60 秒かけて単回静注す
ることができる。ただし、気管挿管を本剤の投与
開始から 10 分以上経過した後に行う場合には単
回静注の必要はない。2)麻酔維持：0.25μg/kg/分
で持続静注する。投与速度については、2～5 分
間隔で 25～100%の範囲で加速又は 25～50%の範
囲で減速できるが、最大でも 2.0μg/kg/分を超えな
いこと。浅麻酔時には、0.5～1.0μg/kg を 2～5 分
間隔で追加単回静注することができる。

【警】本剤は添加物としてグリシンを含むため、
硬膜外及びくも膜下への投与は行わないこと。

【禁】本剤の成分又はフェンタニル系化合物に対
し過敏症の既往歴のある患者

【副】筋硬直、呼吸抑制、血圧低下、徐脈、不全
収縮、心停止、ショック、アナフィラキシー様症
状 ⑯幻視 ⑰振戦、鎮静[☆] ⑱結節性調律、期外
収縮、房室解離、洞房ブロック、心室無収縮[☆]

⑳潮紅 ㉑悪心、嘔吐、腹痛、腹部膨満 ㉒肝機
能異常 ㉓紅斑、発疹、皮膚炎 ㉔乏尿 ㉕寒寒、
冷感 ㉖ビリルビン・AST・LDH・ALT 増加、血
圧上昇、体温低下 ㉗術後血圧上昇[☆]、創合併症[☆]

【妊】未確立、有益のみ

【授】回避、投与する場合は授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

*イトラコナゾール Itraconazole

【商】イトリゾール Itrizole ヤンセン
注射：液剤① 1 管 (20mL) 中 200mg

[14,678 円/管]

【効】○真菌血症、呼吸器真菌症、消化器真菌症、
尿路真菌症、真菌髄膜炎、食道カンジダ症、ブラ
ストミセス症、ヒストプラスマ症 ○真菌感染が
疑われる発熱性好中球減少症

【用】投与開始から 2 日間は 1 日 400mg を 2 回
に分けて点滴静注する。3 日目以降は 1 日 1 回
200mg を点滴静注する。投与に際しては、必ず添
付の専用フィルターセットを用いて、1 時間かけ
て点滴静注する。

【禁】ピモジド・キニジン・ベプリジル・トリア
ゾラム・シンバスタチン・アゼルニジピン・ニソ
ルジピン・エルゴタミン・ジヒドロエルゴタミ
ン・バルデナフィルを投与中の患者、クレアチニ
ンクリアランスが 30mL/分未満の患者、本剤の成
分に対して過敏症の既往歴のある患者、重篤な肝
疾患の現症・既往歴のある患者、妊婦又は妊娠し
ている可能性のある婦人

【副】アナフィラキシー様症状、うっ血性心不全、
肺水腫、肝障害、Stevens-Johnson 症候群、Lyell
症候群、剥脱性皮膚炎 ①血管浮腫 ②低カリ
ウム血症、高カリウム血症、食欲不振、高トリグ
リセリド血症、食欲減退 ③頭痛、不安、傾眠、
発声障害、浮動性めまい、錯感覚、末梢神経障害、
感覚鈍麻、不眠 ④右脚ブロック、心不全、徐脈、
動悸、血管障害、潮紅、心室性期外収縮、狭心症

発作、心電図異常 ⑨呼吸困難、咽喉頭疼痛
⑩下痢、便秘、悪心、胃炎、胃不快感、鼓腸、上腹部痛、軟便、腹部膨満、胃十二指腸潰瘍、消化不良、腹痛、嘔吐、おくび、舌炎、口内炎、腰部腰背部痛、腹部不快感、口腔内痛、歯周炎 ⑪発疹、痒疹症、紅斑、湿疹、皮膚乾燥、皮膚腫脹、白血球破碎性血管炎、蕁麻疹、脱毛、光線過敏性反応、紅斑性発疹 ⑫尿異常、血尿、頻尿、尿失禁 ⑬悪寒、異常感、倦怠感、発熱、浮腫、末梢性浮腫、無力症、投与部位疼痛、投与部位反応、筋硬直、腫脹、自傷、貧血、血清病、視覚障害、筋痛、関節痛、勃起不全、月経障害、耳鳴、味覚倒錯、胸痛 ⑭赤血球数・白血球数・血小板数・ヘマトクリット・ヘモグロビン・コレステロール・K・Na 減少、CRP 増加、血圧上昇、体重増加、尿円柱、尿量減少、BUN 上昇、尿蛋白・尿糖陽性、好酸球・白血球増多、尿酸・P 増加

【妊】禁忌 【授】授乳回避

【小*】未確立

【貯】遮光

*イオベルソール Ioversol

【商】オプチレイ Optiray タイコ
注射：液剤（CT 用）

240：1 シリンジ(100mL)中ヨードとして 24g
[11,177 円/筒]

【効】コンピューター断層撮影における造影

【用】1 回下記量を使用する。100～150mL

【警】◆ショック等の重篤な副作用があらわれることがある。◆本剤を脳・脊髓腔内に投与すると重篤な副作用が発現するおそれがあるので、脳槽・脊髓造影には使用しないこと。

【禁】ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往歴のある患者、重篤な甲状腺疾患のある患者 一般状態の極度に悪い患者、気管支喘息の患者、重篤な心障害のある患者、重篤な肝障害のある患者、重篤な腎障害(無尿等)のある患者、急性膵炎の患者、マクログロブリン血症の患者、多発性骨髄腫のある患者、テタニーのある患者、褐色細胞腫のある患者及びその疑いのある患者

【副】ショック(遅発性を含む)、アナフィラキシー様症状(遅発性を含む)、心室細動、冠動脈攣縮、急性腎不全、肺水腫、失神、痙攣発作、麻痺、肝機能障害、黄疸、血小板減少、脳血管障害、Stevens-Johnson 症候群 ⑮蕁麻疹、発疹、痒疹

感、発赤、潮紅、発汗 ⑯血圧低下、徐脈、頻脈、心悸亢進、不整脈、血圧上昇、顔面蒼白 ⑰咳、くしゃみ、鼻閉、呼吸困難、嗄声、鼻うっ血、咽・喉頭違和感、喉頭浮腫、喘息発作 ⑱頭痛、眠気、耳鳴、めまい、上肢脱力、振戦、失見当識、しびれ感、一過性盲 ⑲嘔気、嘔吐、腹痛
⑳ BUN・クレアチニン上昇 ㉑浮腫・腫脹、胸部痛・絞扼感、悪寒、熱感、味覚・嗅覚異常、発熱、結膜充血、倦怠感

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

*ランソプラゾール Lansoprazole

【商】タケプロン Takepron 武田
注射：1 瓶中 30mg [634 円/瓶]

【効】経口投与不可能な下記の疾患：出血を伴う胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性ストレス潰瘍及び急性胃粘膜病変

【用】1 回 30mg を、生理食塩液又は 5%ブドウ糖注射液に混合して 1 日 2 回点滴静注する。あるいは生理食塩液又は 5%ブドウ糖注射液 20mL に溶解して 1 日 2 回緩徐に静注する。

【禁】本剤の成分に対する過敏症の既往歴のある患者、硫酸アタザナビルを投与中の患者

【副】アナフィラキシー反応、ショック、汎血球減少、無顆粒球症、溶血性貧血、顆粒球・血小板減少、貧血、肝機能障害、Lyell 症候群、Stevens-Johnson 症候群、間質性肺炎、間質性腎炎 ㉒発疹、痒疹 ㉓AST・ALT・ALP・LDH・γ-GTP 上昇 ㉔好酸球増多 ㉕便秘、下痢、口渇、腹部膨満感、悪心、嘔吐、食欲不振、腹痛、カンジダ症、味覚異常、口内炎、舌炎、大腸炎 ㉖頭痛、眠気、うつ状態、不眠、めまい、振戦 ㉗発熱、総コレステロール・尿酸上昇、女性化乳房、かすみ目、浮腫、脱力感、倦怠感、舌・口唇・四肢のしびれ感、関節痛、筋肉痛、脱毛

【妊】有益のみ

【授】原則回避、投与する場合は授乳回避

【小*】未確立

*アルプロスタジル Alprostadil

【商】パルクス Palux 大正富山
注射：乳剤㉘ 1 管(1mL)中 5μg [3,878 円/管]

【効】㉙慢性動脈閉塞症(バージャー病、閉塞性

動脈硬化症)における四肢潰瘍並びに安静時疼痛の改善、糖尿病における皮膚潰瘍の改善、振動病における末梢血行障害に伴う自覚症状の改善並びに末梢循環・神経・運動機能障害の回復 ②下記疾患における皮膚潰瘍の改善：進行性全身性硬化症、全身性エリテマトーデス ③動脈管依存性先天性心疾患における動脈管の開存 ④経上腸間膜動脈性門脈造影における造影能の改善

【用】①②1日1回5～10μgをそのまま又は輸液に混和して緩徐に静注、又は点滴静注する。③輸液に混和し、開始時5ng/kg/分として持続静注する。④1回5μgを生理食塩液で10mLに希釈し、造影剤注入30秒前に3～5秒間で経カテーテル的に上腸間膜動脈内に投与する。

【警】動脈管依存性先天性心疾患(新生児)に投与する場合には、本剤投与により無呼吸発作が発現することがあるので、呼吸管理設備の整っている施設で投与すること。

【禁】重篤な心不全の患者、出血(頭蓋内出血、消化管出血、喀血等)している患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、意識消失、心不全、肺水腫、間質性肺炎、心筋梗塞、脳出血、消化管出血、無顆粒球症、白血球・血小板減少、肝機能障害、黄疸、無呼吸発作 ⑩嘔気、腹痛、嘔吐、下痢、腹部膨満感・不快感、食欲不振、便秘、口腔腫脹感、口内炎 ⑪血圧降下、血管炎、顔面潮紅、胸部絞扼感、発赤、胸痛、動悸、頻脈、血圧上昇 ⑫咳嗽、呼吸困難、喘息 ⑬好酸球増多 ⑭発熱、頭痛、めまい、倦怠感、しびれ、悪寒、振戦、痙攣 ⑮発疹、痒痒感、蕁麻疹、発汗 ⑯腎不全増悪 ⑰血管痛、発赤、こわばり、痒痒感 ⑱鼻出血、眼底出血、皮下出血、血尿 ⑲熱感、四肢疼痛、気分不良、浮腫、視力低下、脱毛、低ナトリウム血症、低クロル血症、低カルシウム血症、高脂血症

【妊・授】未確立、禁忌

【小】③以外：未確立

【貯】遮光、5℃以下

*ヒトインスリン Insulin Human

【商】ヒューマカート R Humacart R

注射：液剤① イーライリリー
1キット(3mL)中300単位 [2,098円/キット]

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】1回2～20単位を毎食前に皮下注する。持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は1日4～100単位である。

【禁】低血糖症状を呈している患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】低血糖、アナフィラキシーショック、血管神経性浮腫 ⑩アレルギー、蕁麻疹、発疹、痒痒感 ⑪治療後神経障害 ⑫糖尿病網膜症の顕在化・増悪、屈折異常 ⑬発赤、痒痒感、疼痛、腫脹、硬結、リポディストロフィー ⑭肝機能異常 ⑮浮腫

【妊・授】注意

【小】注意

【貯】遮光、2～8℃

*ヒトインスリン Insulin Human

【商】ヒューマカート N Humacart N

注射：懸濁剤① イーライリリー
1キット(3mL)中300単位 [2,109円/キット]

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】初期は1回4～20単位を朝食前30分以内に皮下注するが、ときに回数を増やしたり、他のインスリン製剤を併用する。維持量は1日4～80単位である。

【禁】低血糖症状を呈している患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】低血糖、アナフィラキシーショック、血管神経性浮腫 ⑩アレルギー、蕁麻疹、発疹、痒痒感 ⑪治療後神経障害 ⑫糖尿病網膜症の顕在化・増悪、屈折異常 ⑬発赤、痒痒感、疼痛、腫脹、硬結、リポディストロフィー ⑭肝機能異常 ⑮浮腫

【妊・授】注意

【小】注意

【貯】遮光、2～8℃

*インスリンリスプロ Insulin Lispro

【商】ヒューマログ Humalog イーライリリー

注射：液剤① 1キット(3mL)中300単位
[1,981円/キット]

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】1回2～20単位を毎食直前に皮下注するが、ときに投与回数を増やす。持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は1日4～100単位であ

る。

【禁】低血糖症状を呈している患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】低血糖、アナフィラキシーショック、血管神経性浮腫 ⑤蕁麻疹、アレルギー、発疹、痒痒感 ④高血糖、血糖値上昇 ⑥治療後神経障害 ⑦糖尿病網膜症の顕在化・増悪、屈折異常 ⑧腫脹、痒痒感、疼痛、硬結、発赤、リポディストロフィー ⑨肝機能異常 ⑩浮腫

【妊】未確立、注意 【授】注意

【小】注意

【貯】遮光、2～8℃

*プロポフォール Propofol

【商】プロポフォール 丸石
注射：液剤① 1 瓶(20mL)中 200mg
[② 1,197 円/管]

【効】①全身麻酔の導入及び維持 ②集中治療における人工呼吸中の鎮静

【用】①1) 導入：0.5mg/kg/10 秒の速度で、患者の全身状態を観察しながら、就眠が得られるまで静注する。ASAⅢ及びⅣの患者には、より緩徐に投与する。2～2.5mg/kg で就眠が得られる。高齢者では、より少量で就眠が得られる場合がある。
2) 維持：酸素もしくは酸素・亜酸化窒素混合ガスと併用し、静注する。適切な麻酔深度が得られるよう全身状態を観察しながら、投与速度を調節する。4～10mg/kg/時の投与速度で適切な麻酔深度が得られる。鎮痛剤(麻薬性鎮痛剤、局所麻酔剤等)を併用すること。局所麻酔剤併用時には通常より低用量で適切な麻酔深度が得られる。
②0.3mg/kg/時の投与速度で、持続静注を開始し、適切な鎮静深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を調節する。0.3～3mg/kg/時の投与速度で適切な鎮静深度が得られる。必要に応じて鎮痛剤を併用すること。

【禁】本剤又は本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、妊産婦、小児(集中治療における人工呼吸中の鎮静)

【副】低血圧、アナフィラキシー様症状、気管支痙攣、舌根沈下、一過性無呼吸、てんかん様体動、徐脈、不全収縮、心室頻拍、心室性期外収縮、左脚ブロック、肺水腫、覚醒遅延、横紋筋融解症、悪性高熱類似症状 ③徐脈、ST 低下 ④頭痛、振戦 ⑤吃逆、咳嗽 ⑥悪心、口腔内分泌物増加、

嘔吐、肺炎 ⑦発赤、紅斑 ⑧ AST・ALT・ALP・LDH・γ-GTP・ビリルビン上昇 ⑨腎機能障害、変色尿 ⑩多幸症、性欲抑制不能、譫妄 ⑪白血球増加、低蛋白血症、低アルブミン血症 ⑫疼痛、静脈炎、血栓症、しびれ感 ⑬術後発熱、戦慄

【妊】禁忌

【授】原則回避、投与する場合は授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立 ②禁忌

【貯】25℃以下

*人免疫グロブリン Human Immunoglobulin

【商】ポリグロビン N Polyglobin-N 日赤
注射：液剤(pH4 処理酸性)①

1 瓶(50mL)中 2,500mg [24,242 円/瓶]

【効】①低又は無ガンマグロブリン血症、重症感染症における抗生物質との併用 ②特発性血小板減少性紫斑病(他剤が無効で、著名な出血傾向があり、外科的処置又は出産等一時的止血管理を必要とする場合) ③川崎病の急性期(重症であり、冠状動脈障害の発生の危険がある場合)

【用】直接静注する場合は、きわめて徐々に行うこと。①成人には 1 回 2,500～5,000mg を、小児には 1 回 50～150mg/kg を点滴静注又は直接静注する。②1 日 400mg/kg を点滴静注又は直接静注する。5 日間使用しても症状に改善が認められない場合は、以降の投与を中止すること。③1 日 200mg/kg を 5 日間点滴静注又は直接静注、もしくは 2,000mg/kg を 1 回点滴静注する。

【禁】本剤の成分に対しショックの既往歴のある患者 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、肝機能障害、黄疸、無菌性髄膜炎、急性腎不全、血小板減少、血栓塞栓症、心不全 ④発熱、発疹、痒痒 ⑤好中球減少、好酸球増多、溶血性貧血 ⑥頭痛、嘔気

【妊】未確立、有益のみ

【低・新】未確立

【貯】10℃以下